

こさい議会だより

ぎかいのひろば

No. 202 第1回臨時会・12月定例会

令和5年1月31日発行

特集

市制50周年記念事業
高校生議会を開催!

- 5 ● 新年のご挨拶
- 6 ● 第1回臨時会・12月定例会ではこんなことが決まりました
- 8 ● そこが聞きたい!! 一般質問
- 14 ● 令和4年の議会活動を報告します
- 16 ● あの質問、どうなったの?

湖西市市制施行50周年記念事業 50th 高校生議会



△新居高校の生徒の皆さんと (※写真撮影の際だけ、マスクを外しています。)

市制50周年記念事業 高校生議会を開催しました！

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことから、若者がまちづくりを考えるきっかけづくりとするため、市議会では例年、高校生との意見交換会を開催してきました。市制50周年を迎えた令和4年は、高校生に議会活動を体験してもらい、高校生の視点から湖西市の課題、まちづくりについて協議する場を設けることを目的に高校生議会を開催し、県立新居高校で政治経済を受講する2・3年生の生徒さんに参加いただきました。

STEP 1 課題抽出

湖西市の弱み・強みについて議員が出前講座を実施。高校でのSWOT分析の結果、市の課題・脅威として「防災」「観光」が挙げられた。



SWOT (スウォット)分析とは？

内部環境である「弱み」「強み」、外部環境である「機会」「脅威」の4項目で事業戦略の方向性を考える、企業の経営戦略やマーケティング分析などで活用される手法。

STEP 2 専門家による出前講座

議員や市の観光担当課、防災担当課のほか、東日本大震災時の被災・復興状況について福島県浪江町役場の職員に話を聞き、学びを深めた。



▲市危機管理課による防災講座



▲浪江町職員による防災講話（オンライン）

STEP 3 政策立案

議員による政策提言のコツ講座をオンラインで実施。後日、生徒が班ごとに分かれ政策提言を作成、議員がフォローを行った。



STEP 4

いざ本番！



班に分かれ4つの提言を行い、市長から回答をいただいた。

提言1 「共助」のための合同避難訓練と高校生の防災資格の取得

湖西市や浪江町の職員から「自助」と「共助」の大切さを教わった。災害発生時、大人は仕事で地域の外に出ていることも多いため、一番動けるのは自分たち高校生である。高校生が「共助」の力になるために、小中学校・幼稚園・保育園や高齢者・障害者などの施設との合同避難訓練を提言する。また、徳島県では防災士の育成講座を開いて高校生や教員の資格取得を支援しているとの記事を見た。防災士は避難所の設置や救護者の介護などのサポートに長けており、他の市民よりスムーズに動くことができる。湖西市でも、中高生が避難所での支援体制や救護者の介護方法などを学び知識を身に付ける講座を開けないか。

回答

平常時から地域の方々と顔の見える関係性をつくることは、災害時の防災活動における連携の強化につながる。現在、小学校では、学校内で高学年が低学年をサポートなどの防災教育を実施しており、県の協力のもと「ふじのくにジュニア防災士」養成講座に取り組むなど地域の実情に応じた防災教育を行っている学校もある。市では、地域の方々に参加いただく防災訓練を年3回実施しており、高校生の皆さんが訓練に参画することは地域の連携強化につながると考えるため、合同の訓練の実現に向け市から投げかけていきたい。また、市や消防で実施している防災に関する出前講座などを活用し、ジュニア防災士の育成につなげたい。

提言2 食料や備蓄の安定した提供方法

自分たちが湖西市民や新居高生を対象に行ったアンケートの結果、市から備蓄の推奨をされているにも関わらず、備蓄している人は半分にも満たないことがわかった。浪江町に東日本大震災当時のことを伺ったところ「備蓄がないと身体的にも精神的にも辛いため、備蓄は必須」とのことだった。インターネットを通して各家庭や個人が備蓄品の発注を行うことができるようにするなど、市が仲介するのはどうか。



回答

避難所生活では自助としての備えが重要になるため、各家庭における最低3日分の備蓄を推進しており、ウェブサイトでは備蓄品の一例やストック方法を例示している。東京都では、家族の人数や構成などをもとにした備蓄シミュレーションアプリが提供されており、それに基づいた定期的な配送など民間事業者のさまざまなサービスが提供されている。行政の手がすべてに届けられない部分を官民共創で行っていったらと考える。今後も備蓄の啓発を行い、防災意識向上に努めたい。

提言3 外国籍の方も災害時安心して暮らすことができる環境づくり

市内には多くの外国籍の方が住んでいるが、ハザードマップや看板の内容がよく理解できないのではないかと考えた。浪江町でも東日本大震災当時、外国籍の方への災害対応に苦慮したと聞いた。災害用看板にピクトグラムや目を引く色を使用し、外国籍の方にもわかりやすく、また観光にも利用して地域の活性化も目指してはどうか。

回答

市内15避難所には、ピクトグラムを利用し多言語で表記した災害用案内表示などをセットした「避難所開設BOX」を整備している。また、ポルトガル語による同報無線やSNSによる情報発信などに力を入れている。市内の災害用案内看板については、提言を参考に新設や取り換えの際にピクトグラムを活用したわかりやすい案内表示に努めていきたい。誰にでもわかりやすく、災害時に安心して過ごせる環境づくりを進めていきたい。

提言4 避難生活シミュレーション

災害時の生活を想像し、小中学生に自立や共助の考えを持ってもらうために、避難生活をシミュレーションできる授業を提言する。

回答

小中学生を対象とした災害後シミュレーション授業や訓練については「ふじのくにジュニア防災士」養成講座を県が実施しており、市内では防災に関する講話に加え災害時図上訓練(DIG)や避難所運営訓練(HUG)など体験型の講座をすでに取り組んでいる。また、災害ボランティアの方々と連携した授業を実施したり、出前講座を活用したりしている学校もある。将来、地域の防災を担っていく子供たちに防災教育を充実させることは重要で、年3回の防災訓練や避難場所開設訓練について、より地域を巻き込んだ訓練や体験が実施できるよう努め、防災を身近に感じてもらい、自助・共助の意識を持ってもらえるよう引き続き防災教育に対する支援を行っていきたい。



提言内容の詳細はこちら



参加した生徒の声

今まであまり考えたことのなかった市の課題を知れた

緊張したが、市長に自分たちの意見をしっかりと伝えられた

皆で話し合い、素晴らしい提言ができた

自分の意見をわかりやすく工夫して発表するという、社会に出てから大切になるスキルを身につける経験ができた

自信を持って自分の意見を話せるようになった

今回の提言が今後の湖西市に活かされるとよい

市の課題や防災対策のほか、市議会ではどのようなことが行われているかも学べた

会議の様子は
こちらから
ご覧いただけます！



—— 新春のご挨拶を申し上げます ——

皆様には、日頃から市議会に対する温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は3年を経過しても、収束の兆しも見えず、市民生活や働き方にも大きな影響を与えています。

そのような中においても、我々市議会は、さまざまな制約や変容を強いられた市民の皆様への支援はもちろんのこと、市の山積する課題や想定を超える自然災害にも素早く対応しなくてはなりません。

これらの課題解決に一丸となって取り組み、多くの皆様のご意見を受け止め、執行機関と議論を重ね、安全で安心して暮らせるより良い湖西市をつくってまいります。

そして、開かれた議会のもと、持続可能な住み続けたいまちづくりに努めてまいります。

どうか本年もご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

湖西市議会



うなぼんが議場に遊びに
きてくれました。
うなぼんと仲良くなれて
みんないい笑顔です。

※写真撮影の際だけ、マスクを外しています。

湖西市公式コミュニケーションキャラクター

突然変異の「パンダウナギ」と「黄金ウナギ」をモチーフに、市制50周年を機に2022年に誕生したキャラクターです。

～プロフィール～

みんなと仲良くなりたくて、人気者のパンダのふりをして浜名湖から出てきたらしい。ほんとはうなぎ。こさいのことを勉強中。

うなぼん



第1回臨時会ではこんなことが決まりました

第1回臨時会

— 会 期 —
10月28日

補正予算…………… 1件

合計 1件

1つの質問を
紹介します!!

ひとり親子育て世帯に給付金

●母子福祉費 2,970万円

新型コロナによる影響が長期化する中、物価高騰対応緊急対策として、ひとり親子育て世帯の生活を支援する特別給付金に係る経費を増額。

問

対象者のうち「令和4年度の児童扶養手当未受給となっていた世帯で、収入減少により児童扶養手当受給相当まで家計が急変した世帯」はどのような状態の世帯で、基準はあるか。

答

新型コロナの影響で家計が急変している世帯で、申請窓口における聞き取り、直近1ヶ月の給与明細など収入がわかる書類の提出をいただいた上で、チェック表に基づいて収入金額を計算し、対象世帯を認定していく。

◆デジタル化を進めています！

12月定例会から執行部のノートパソコン持ち込みによる資料のペーパーレス化を本格的に開始し、職員の事務負担の軽減を図るなどデジタル化を推進しています。なお、議員は令和元年度から自身のタブレットを用いた議会運営を行っています。

(※写真は10月の議員全員協議会での試行の様子)



12月定例会ではこんなことが決まりました

12月 定例会

— 会 期 —

11月30日
↓
12月23日

条例の制定	7件
条例の廃止	2件
条例の一部改正	8件
補正予算	6件
その他	1件

合計 24件

この中から
2つの質問を
紹介します!!

湖西市職員の定年延長 制度の導入に向けて

令和5年4月から職員の定年年齢を2年に1歳ずつ引き上げ65歳とする定年延長制度の導入に向けた条例改正で、全員賛成により可決した。

問

新規採用職員の採用控えへの影響は。

答

定年の引き上げが段階的に行われることになり、令和13年度まで定年退職者が2年に一度となるため、一定程度職員の新規採用数が抑制されることが見込まれる。そんな中、行政サービスの維持・向上の観点から、行政課題に基づく業務量の把握、職種ごとの職員の年齢構成の偏りの抑制などを十分に考慮・検討した上で、中長期的観点から定員管理を行い必要な新規採用職員の確保に努め、組織の新陳代謝や活性化を図っていきたい。

避難所用のテント型 パーテーションを購入

●地震対策関係経費 1,155万円

感染症対策や避難所生活の環境改善のため、市内15避難所に整備するテント型パーテーションの購入費用を増額。



幅 2.1 m
奥行 2.1 m
高さ 1.8 m

▲購入するテント型パーテーション

問

テント型パーテーションの購入費1,155万円は、何基分か。

答

300基分の購入費用である。ワンタッチで設置可能な屋根付きのナイロン製で、屋根があることによりプライバシーの確保に優れている。そのため、更衣スペースや授乳スペースとしてだけでなく、大規模災害などでコロナ患者などが避難してきた場合における感染者や発熱者の隔離スペースとして使用することもできる。

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今12月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。



湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

湖西市議会 再生リスト
令和4年12月定例会

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

▶ 本会議インターネット放送

▶ 本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)

01

常備消防、消防団の充実強化について



加藤 弘己 議員

問 定年引上げ後の消防本部の状況について、どのような課題があるか。

答 定年が段階的に引き上げられ、その引き上げ期間中10年間は、退職者が減少し、毎年新規職員を採用できなくなることが予想されるため、その年代に空洞現象が生じ、職員の人材育成や消防特有の指揮命令系統が混乱すると懸念している。また、現場活動を希望する職員が圧倒的に多いため、高齢職員が活躍できる職域の確保が急務であり、職員の高齢化によるマンパワーの低下が深刻化すると考えている。

問 消防団の現状は。

答 昨今の新型コロナウイルスの影響で、お祭りや盆踊り、地域の行事が中止となり、地域のコミュニティが希薄化したことにより、団員の確保に苦労している。また、サラリーマン化率が高くなっており、日中の災害に出動できる団員が少ないことが課題となっているため、自営業などの消防団OBを機能別消防団員として再入団させたり、消防団応援の店制度などの優遇制度を定めたりして、さまざまな対策を行っている。

地域医療構想の経過と今後の発展について

問 「浜松医療センター及び市立湖西病院における持続可能な地域医療提供体制の確保に関する連携協定」締結の背景や経緯は。

答 高度急性期医療が必要な患者は市外の医療機関にも受け入れていただき、湖西病院の地域包括ケア病床で回復期の患者を受け入れるなど、機能分化により地域医療の充実と経営の強化の両立を図っていくという考えが根底にあり、コロナ禍以前から浜松医療センターと協議を進めてきた。お互いの強みを活かし、役割分担によりお互いにメリットがある形で実効性を高めていくため、連携協定の締結に至った。

問 市内で安心して子どもを産むことができる環境づくりについてはどのように考えているのか。

答 産婦人科の誘致については、補助金や市有地の無償貸付などの優遇措置や、産婦人科学会などさまざまなところで開設のお願いをしてきたが、なかなか難しいというのが現状。浜松医療センターとの連携協定の中に産科機能の充実が入っているので、まずは浜松医療センターから助産師を派遣していただき、市内で安心して産前産後の診療が受けられるような体制とし、できれば湖西病院で普通分娩というところまでもっていきたい。

02



柴田 一雄 議員

令和4年度目玉事業「土地利活用の一体的推進」について

03

問 「浜松湖西豊橋道路」で市内に建設されるインターチェンジ付近の開発の検討について進捗状況は。

答 浜松湖西豊橋道路については、現在、ルート帯とインターチェンジの配置について示されたところであり、法令に基づく環境アセスメントなどの調査、準備が行われている。インターチェンジ付近の土地利用方針についても浜松湖西豊橋道路の計画の熟度にあわせ、周辺の道路整備や工業用地などの整備について検討し進捗を図っていく。引き続き、長期的な視点を持って取り組んでいきたいと考えている。

問 新たな工業用地などのニーズに対応するための開発可能性調査の進捗状況は。

答 現在、工業用地の開発可能性調査を、令和5年度供用開始予定の大倉戸茶屋松線いわゆるバッテリーロードの沿線と浜松湖西豊橋道路の周辺で行っており、どちらも県企業局と協力して調査を進めている。バッテリーロード沿線は、令和5年1月から現地調査を含む詳細調査を実施する予定で、浜松湖西豊橋道路周辺は、令和4年度に基本調査を行い、課題を洗い出しているところである。



加藤 治司 議員

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的推進について

04



楠 浩幸 議員

問 統括地域コーディネーターの設置を。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の目的と役割、位置付けをどの様に考えているのか。

答 統括地域コーディネーターの設置は望ましいが、人材を確保することが難しい。地域学校協働活動は、地域住民が学校のさまざまな活動に対して支援を行うことで、円滑な学校運営を図り、地域の連携の強化や住民の生きがいづくりに資することを目的としている。「社会に開かれた教育課程」を実現していくためには、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動が連携して双方向で機能することが望ましいと考える。

問 部活の地域移行について、湖西市の実情と課題、方策についての考えは。

答 本市はジュニアスポーツとして、野球、柔道、陸上競技などで、地域の指導者に教えていただく機会を設けている。令和5年度には、学校関係者、スポーツ協会、スポーツ推進委員など関係する方々と休日の部活動の地域移行について検討する協議会を立ち上げる予定で、本市の実情をつかむため、協力していただける個人や団体がどれくらい存在するか、生徒や保護者はどのような意識を持っているかなど、調査していく。

令和4年度市民意識調査結果について

05

問 煩雑化している公共交通事業の位置付けは。交通弱者のためか、市民の足として必要なのか。

答 地域公共交通は、市民のほか、湖西市に訪れた方にも利用していただくことが本来の目標である。コーちゃんバスは福祉バスから発展してきたものであり、どちらかという交通弱者にターゲットを置いている。現在の主な利用は、高齢者、障害をお持ちの方の移動、小学生の通学であるが、それ以外の方については、バスの乗り継ぎの改善をしながらよりみなさんに使っていただけるような公共交通を目指していきたい。

問 接客対応マニュアルはどのようになっているか。

答 接客対応に限定しているマニュアルは備えていないが、「職員服務規則」や「職員としての行動規範」の中に、接客態度などの行動方針を記載し、職員へ周知徹底を図っている。新規採用職員には接客研修を必ず受講させ、接客の必要性・言葉遣い・身だしなみ・接客態度などを学ばせている。また、定期的な注意喚起や、OJT研修により職員自身の対応状況を確認させ、職員の接客態度の向上・改善を図っている。



二橋 益良 議員

花と緑のあふれるまちづくりについて

問 公共花壇などの管理において補助金と委託金で扱いが異なる理由と、こさい花いっぱい運動の今後の事業の在り方は。

答 こさい花いっぱい運動推進協議会への補助金は、会の自主活動の支援であり、花壇管理、育苗施設での播種作業、仮植作業に必要な経費として交付している。新居地域協働まちづくり事業における委託料は、まちづくりの政策的な目的として作った花壇(新居支所が管理する新居町駅の花壇など)について、管理をシルバー人材センターへ委託している。こさい花いっぱい運動は、今後も緑化ボランティアの活動を支援する形で事業展開を図っていききたい。

その他の質問…鷺津幼稚園の今後について

問 湖西運動公園に市の花のくちなしと特産こでまりの植栽や、カフェの誘致など、市の魅力・観光スポットにしてはどうか。

答 看板の設置などを行い公園内に植栽されているくちなしやこでまりの周知に努めていく。

また、本年度、指定管理者の自主事業として移動式キッチンカーを2日間出店した。イベント時などにまた実施していきたい。今後も魅力ある場所として、市内外のあらゆる世代の方々にご来園いただけるよう指定管理者とともに公園の環境整備に努めていく。



神谷 里枝 議員



荻野 利明 議員

補聴器購入に助成制度を！

問 補聴器購入に助成制度を創設する考えは。

答 聴覚障害による障害者手帳保有者には、1割負担で補聴器を購入できる支援を実施している。また、障害者手帳の交付対象とはならない中等度以下の方に対しては、認知機能の低下や生活習慣病との関連性などについての知見に関する国などの動向を注視するとともに、まずは、難聴者の実態把握の調査を行いながら、他市の状況なども踏まえ研究していききたい。

教職員多忙化の改善は。

問 教職員の長時間労働・休日出勤をどう解決していくのか。

答 教職員の出退勤管理、情報伝達などのICT化や、形骸化している業務の廃止や押印削減など、事務手続きの簡素化を図っている。教員の過度の負担を軽減するため、県費負担の加配教員や会計年度任用職員の活用、市費で特別支援教育支援員を配置している。小学校は令和2年度から部活動を廃止し、中学校はガイドラインに沿って平日に1日、土日のどちらか1日を活動しない日とし、以前より超過勤務時間が軽減している。

市の魅力発信による移住促進について

問 大自然体験ツアーを地域ごとに発案し、行政と共に実施して地元の特徴をアピールし市の魅力を発信していく考えは。

答 現在、情報サイト「浜松・浜名湖ちよい旅ガイド」に観光体験メニューの情報を発信している。12月に委嘱した本市初の「地域おこし協力隊」隊員には移住者や若者視点からの観光資源の発掘や、若い世代に向けた情報発信などを期待する。白須賀地区のような地域活性化の取組を促すために、地元住民の皆様のアイデアを取り入れ事業に生かすとともに、地元独自のイベントなどのサポートも検討していききたい。

問 移住促進の大きな課題である臭気の解決策を伺う。

答 清掃管理や消臭剤噴霧、施設改修などが必要と考える。令和3年度は市内養豚事業所で次亜塩素酸水を使用した脱臭装置の実証実験を行った。11月に浜名湖電装(株)とキャノンマーケティングジャパン(株)と本市の間で協定を締結し、新たなシステム構築に向けた取組の効果検証と、他の畜産事業者への展開も視野に実用化を目指す。今後も臭気対策プロジェクトチームを中心に臭気抑制のための取組の歩みを進めていく。



滝本 幸夫 議員

給食センターについて

問 給食センター PFI 方式導入効果の指標 VFM (3%、1.5 億円削減)の積算根拠(従来方式と PFI 方式の比較結果)は。

答 建設と運営をそれぞれ契約する従来方式に比べ、民間が建設から運営まで行う PFI 方式は施設整備と調理・配送・維持管理に約 3 億 2,000 万円の削減効果があり、市債借入額も約 1 億円減少。一方で契約する特別目的会社への経費と施設整備、災害発生時の対応などのモニタリング費用に 1 億 9,000 万円程を要す。よって従来方式は 60 億 8,000 万円、PFI 方式は 59 億 3,000 万円となり PFI 方式が約 1 億 5,000 万円優位だった。

問 施設整備工事に短期間で大金の資金が必要となるが、市の財政負担の見込みは。

答 PFI 方式でも施設整備工事には資金が必要となり、学校教育施設事業と同様に国の補助金や市債を活用する。概算では、運営開始までの 3 年間(令和 6 年度～ 8 年度)で施設整備に約 21 億円が必要となり、補助金 3 億円と市債 14 億円を見込み、残額の 4 億円は事業者が資金調達し、運営期間中に市が負担していく。

09



中村 博行 議員

湖西市の空き家対策について

問 湖西市の空き家の現状と空き家となる要因・実態は。

答 5 年ごとに総務省が実施する住宅・土地統計調査による平成 30 年の調査結果 3,520 戸のうち、平成 30 年度の立地適正化計画策定時に調査した水道メーターの廃止・休止申請を基に賃貸用や別荘などを除く 278 戸を空き家とした。要因・実態は、親と子が別に住居を構えるなど核家族化が進行し、借り手がない、売却や解体などの処分方法が分からない声が大半である一方、税金対策で解体しない人もいる。

問 空き家発生の抑制を図るため、どのような施策、対策を進めているのか。

答 空き家相談事業、空き家の管理不全の所有者への改善指導、空き家バンク登録事業、空き店舗等利活用出店補助金事業、シルバー人材センターの空き家見守りサービス事業の紹介などを実施している。令和 5 年度に空き家等対策計画を見直す予定のため、令和 4 年 9 月から 10 月にかけて実施したアンケート調査を本年度末までに結果を取りまとめ、職住近接、定住促進につながる施策を盛り込んだ計画を考えている。

10



高柳 達弥 議員

高齢者世帯、障害者などの世帯の今と将来について

問 今後の湖西市における高齢者施設数の見通しは需要に対してどうか。不足の可能性があればその対策は。

答 高齢化率の上昇に伴い、介護サービスの需要は高まるものと見込んでいる。第 8 期こさい高齢者プランでは、小規模多機能型居宅介護事業所と認知症対応型共同生活介護事業所の需要が見込まれるため公募を実施し、認知症対応型共同生活介護事業所 1 か所については、令和 5 年 4 月の開設に向け整備が進められている。応募が無かった小規模多機能型居宅介護事業所については、再度公募することで現在調整を進めている。

問 親亡き後の障害者の生活について心配があるが、対策は。

答 財産管理や福祉サービスの利用契約など、誰が管理し、誰が行うのが課題となる。成年後見人、保佐人および補助人をあらかじめ決めておくことにより、親亡き後も速やかに支援ができるようになるため、保護者が健在なうちから成年後見制度を利用するよう勧めている。制度を理解し、早めに手続きを進めていただけるよう、障害福祉サービス事業所や成年後見制度の中核機関と連携し、周知に努めていく。

11



土屋 和幸 議員

問 「産前産後ヘルパー」派遣事業を開始してはいかがか。

答 助産師による訪問型の産後ケアについては本年度から追加したが、育児サポーターについては市内に事業者がないため、市外に所在するベビーシッター事業者や育児サポーターなどの派遣事業者を利用するか、シルバー人材センターなどに家事の援助をお願いするというのが現状である。市としては、現時点では、事業者に関する情報を集め、対象者に提供していくことに努めていきたいと考えている。

問 「出産・子育て応援交付金」の支給方法はクーポン券か。また、支給時期はいつ頃か。

答 市民の利便性を考え、現金給付の方法により子育てサービス利用料や物品の購入費に充ててもらおう方向がいいという判断で、支給時期を含め現在の詳細を詰めている。本年度中に開始する予定の事業である。今後も継続実施されていく事業であると聞いていることから、今後、クーポン制に関する事業実施の広域的連携体制などが整えば、その機会を捉えてクーポン制を取り入れていくことも選択肢として検討する。



佐原 佳美 議員

給食センター計画中の視点について

問 給食センターの設備は、夏・冬・春の休暇、土日、午後は休みなので、遊んでいる時間があまりにも長い。他の用途にも活用できないのか。

答 市が求めるサービス水準は「実施方針」と「要求水準書」で提示するが、この中で学校給食の提供以外の業務を求める考えは今のところない。

ただし、事業者のほうから付帯事業として学校給食業務以外の業務を実施したい旨の希望がある場合には、学校給食の提供に支障がないという大前提の上で、協議の結果で実施することが可能な場合もある。

問 学校給食の無償化を段階的に、少しでも早く着手する考えはないか。

答 学校給食の無償化は子育て世帯への支援として有効な施策の一つであると考えているが、大きな財政負担を伴うものでもある。

限られた予算の中で優先順位をつけて教育環境の整備を進めており、学校給食センターの整備についても着実に進めていかなければならないと考えている。

保護者の負担分については、学校給食センターの運用開始予定である令和8年9月に合わせ、無償化、一部補助、現状維持などの考え方をまとめていきたい。



三上 元 議員

これからの小中学校の規模及び配置について

問 学校統廃合問題はまちづくりの問題でもあるが、どのように考えているか。

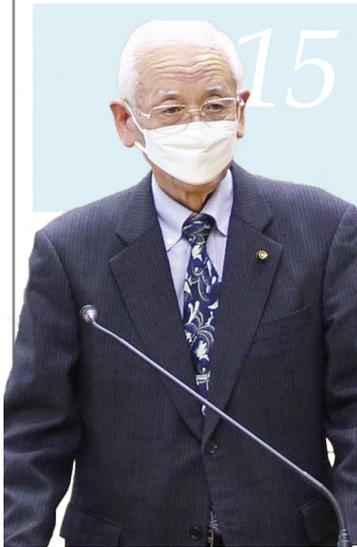
答 学校統廃合問題は、子どもたちの望ましい教育環境の整備という点でとらえている。数年後には入学生が一桁になる学校があることや、全学年一クラスのみで15人前後という学校が出てくることが推計されているので、できるだけ速やかに子どもたちの教育環境を整備する必要がある。まちづくりも大切だが、今いる子どもたちの教育環境を中心に考えている。

問 今後の知波田小学校の対応については慎重な検討と十分な住民説明が必要だが、いかがか。

答 学校教育施設適正化検討委員会の報告書でも、保護者や地域への説明を丁寧に行う必要があるとされている。少子社会に対応した子どもたちの教育環境の確保に向けて、現在も意見交換会を実施しているが、今後も丁寧に説明を行っていきたいと考えている。



福永 桂子 議員



吉田 建二 議員

大気保全体制の強化に向けて

問 静岡県と豊橋市、湖西市の3者による協議会的な組織を立ち上げたかと考えるのがいかがか。

答 現在も、静岡県と豊橋市、湖西市の3者によるダイオキシン類の大気測定結果を協議する会議を、年4回定期的に開催しており、その中で、必要な情報の提供を求めたり、意見を述べたりすることがしっかりできている。まずは、この会議を有効に活用するとともに、豊橋市とは、大気など生活環境の問題は、行政の区域に関係なく影響がおよぶことを共通認識し、現在の連絡調整体制を継続して取り組んでいく。

湖西市駅伝大会の再開に向けて

問 来年度以降は駅伝大会を開催してはいかがか。

答 コロナ禍や道路、交通事情など今後の社会状況の変化にかかわらず、大会を継続的に実施していくという観点から、来年度以降も当面は運動公園内で行うリレーマラソンを開催していく考えである。駅伝大会の再開については、関係団体の協力が不可欠であるため、さまざまな課題がある中での再開に向けては、関係団体と研究していきたいと考えている。

オンライン意見交換会を開催

令和4年度の議会報告会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面方式とはせずオンラインにより開催しました。

令和3年度は団体を限定して実施しましたが、今年度は応募していただいた市民を対象に実施し、7名の方にご参加いただきました。

意見交換会でいただいたご意見の一部を紹介します。詳細は、市議会ウェブサイトに掲載の実施報告書をご覧ください。議会事務局での閲覧も可能です。

実施報告書は
こちらから
ご覧いただけます！



<開催日時> 令和4年11月4日(金) 19時00分～20時30分

<テーマ> 少子化・人口減少対策について(子育てに関することなど)

<意見交換でのご意見>

- 家を建てたくても土地がないことが問題。若い世代が引っ越したくても引っ越せない。
- 空き家をリフォームして格安で子育て世代に貸して住んでもらうというような対策を行えば引っ越してきたいと思えるようになるのでは。
- 安心して子どもを産める環境整備が必要。核家族化が進んでいて身近に頼れる人がいない。宿泊型の産後ケアなど、産後のサポートを充実させていくことで「湖西市に来たら安心して子どもが産める」というまちになればいいと思う。
- 地域コーディネーターとして、ボランティアを探すことに苦慮している。コミュニティ・スクール化のことを知らない人が多いので、市をあげてもっと宣伝してもらいたい。
- 議員に積極的にイベントなどに顔を出し、市の現状をよく見て理解してほしい。その場で困っていることや、悩みなどを聞けば市民の考えを知ることができる。

<参加者アンケート記載の意見>

- 市民の声を届けるのは困難さも感じている。このように意見を言える機会があるのは良いことだと思う。
- 実際に転入してきて欲しい若い世代の夫婦の声も聞いてほしい。夜は難しいし、オンラインもハードルが高いかも。気軽に対話できるような場があるととても良いと思う。
- 参加者の中で温度差や求めるモノが違うので、テーマに沿ったファシリテーターがいればなお良かったと思う。



令和4年の議会活動を報告します

令和4年は定例会を3月、6月、9月、12月に開催し、第1回臨時会を10月に開催しました。

また、委員会を必要に応じて開催し、議案の審査などを行いました。こうした1年間の議会活動の概要を報告します。

定例会等の開催状況

※「原案可決」には専決処分の「承認」、人事案件の「同意」、決算の「認定」が含まれています。

区 分	定 例 会				臨時会	合 計		
	3月	6月	9月	12月	10月			
会期の日数	34	15	31	24	1	105		
本会議日数	6	5	6	6	1	24		
議	市長提出	予 算	14	5	5	6	1	31
		条 例	12	7	3	16	0	38
		その他	6	2	9	1	0	18
	議員等提出	1	0	1	1	0	3	
	合 計	33	14	18	24	1	90	
案	審議結果	原案可決	33	14	18	24	1	90
		修正可決	0	0	0	0	0	0
		否 決	0	0	0	0	0	0
		撤 回	0	0	0	0	0	0
請 願	1	0	0	0	0	0		
一般質問者数	15	14	13	15	-	57		
傍聴者数	12	17	21	20	1	71		

意見書・決議等の審議結果

会 議	議案番号	件 名	提出日	議決日	議決結果
3月定例会	第32号	ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議	3月8日	3月8日	可 決
9月定例会	第66号	義務教育における特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書	9月28日	9月28日	可 決

請願・陳情の受理状況

区 分	請 願	陳 情
件 数	1件	2件

委員会等開催状況

	常任委員会			議会運営委員会	議員全員協議会	議会だより編集委員会
	総務経済	福祉教育	建設環境			
会議日数	22	12	16	16	13	18
傍聴者数	0	0	0	1	-	-
	特別委員会					
	予算	決算	広報広聴	広報広聴 (第1分科会)	広報広聴 (第2分科会)	議会活動推進
会議日数	3	3	1	7	18	10
傍聴者数	0	0	0	0	0	0

※常任委員会・特別委員会には勉強会などの開催日数も含まれています。

議員数 (令和4年12月31日現在)

条例定数	現在数
18人	18人

議員の報酬等 (令和4年12月31日現在)

区分	報酬月額	期末手当支給割合		
		6月 支給割合 1.625月分	12月 支給割合 1.675月分	合計 支給割合 3.3月分
議長	410,000円	932,750円	961,450円	1,894,200円
副議長	375,000円	853,125円	879,375円	1,732,500円
常任委員長 議運委員長	350,000円	796,250円	820,750円	1,617,000円
議員	345,000円	784,875円	809,025円	1,593,900円

※期末手当額 = (報酬月額 × 1.40 (加算率)) × 支給割合

視察等の状況(すべてオンラインでの開催)

湖西市議会が行った視察・研修

月日	参加者	相手	内容
2月 3日	議会活動推進特別委員会	茨城県取手市議会	オンライン会議、ICTの取り組みについてなど
3月28日	広報広聴特別委員会 (第2分科会)	愛知県知立市議会	高校生議会の取り組みについて
5月 9日		愛知県新城市議会	議会報告会について
5月11日	議会活動推進特別委員会	岐阜県可児市議会	予算決算審査サイクルについて
10月 5日	広報広聴特別委員会 (第2分科会)	長野県飯田市議会	議会報告会について
10月19日		静岡県菊川市議会	

湖西市を視察した他市町議会

月日	来訪者	内容
5月 2日	愛知県江南市議会 3人	教科書の単独採択について

あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.194 掲載

(令和3年1月31日付発行)

DX 推進に伴う市民に寄り添った「おくやみコーナー」開設について

問 DX 推進事業としての「おくやみコーナー」を開設する意向は。

答 死亡時の手続きには複数の窓口が関係してくるため、コーナー開設には事前に関係部署で課題を洗い出し、十分な検討をする必要がある。先進地の事例や国の自治体支援ナビを活用し、幅広く研究を進める。

追跡してみると



湖西市でも令和4年3月から、市役所1階市民課横に予約制の「おくやみコーナー」が開設され、これまでに120人以上のご遺族の方にご利用いただいています。亡くなられた際に発生する市役所内の手続きを1ヶ所で済ませることができると、ご遺族の方の負担軽減につながっています。



市議会からのお知らせ

「ぎかいのひろば」を スマホでも！

マチイロ を使えば、

「ぎかいのひろば」をスマートフォンで読むことができます。
(※別途通信料が掛かります。)



利用方法

- 1 右のコードからアクセス
- 2 「マチイロ」をダウンロード
- 3 個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎馬場 衛 ○土屋 和幸 柴田 一雄 滝本 幸夫
三上 元 福永 桂子 竹内 祐子 中村 博行

3 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
2/12	13	14	15	16	17 10:00～ 本会議第1日	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	3/1	2 10:00～ 本会議第2日	3 10:00～ 本会議第3日 (一般質問)	4
5	6 10:00～ 本会議第4日 (一般質問)	7 10:00～ 本会議第5日 (一般質問)	8	9	10	11
12	13 10:00～ 総務経済 委員会	14 10:00～ 福祉教育 委員会	15 10:00～ 建設環境 委員会	16	17	18
19	20	21	22 10:00～ 本会議第6日	23	24	25

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

